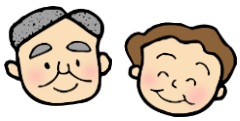
�みんな楽しく　㋙㋣でもチャレンジ　㋬んまる笑顔の

みなんまの子

南有馬小学校だより　№23
令和８年 10 月 23 日（金）
南島原市立南有馬小学校
校　長　　大草　修三

第2回 学校運営協議会開催



１０月１９日（月）に、本校体育館で南有馬地区の令和 8 年度第 2 回学校運営協議会を開催しました。今回の学校運営協議会では、地域学校協働本部のメンバーの方にも参加していただき、学校経営の状況報告と南有馬中学校３年生による地域貢献学習の発表を行いました。熟議の様子は、本校の６年生も参観しました。

中学３年生による発表は、総合的な学習の時間に考えた地域貢献の具体的な内容を「CM 班」「地域もりあげ隊」「地域清掃班」の３班に分かれて発表しました。中学生のふるさとへの思いがこもった提案に、地域の方々からたくさんの感想、意見をいただきました。また、中学生の頑張りやアイデアへの賞賛の言葉もありました。中学生から地域の方へ「こんなときはどうすればいいですか？」という質問が出たときには、地域の方がアイデアを出したり、協力を惜しまない声をあげてくださったりしました。本当に素敵なひと時を過ごすことができました。

このような中学生と地域の方との熟議の様子を６年生は真剣に見ていました。来年度は自分たちもこんなことをするんだなという感想をもったことと思います。

実は、今回の学校運営協議会には、長崎県内の各市町教育委員会のコミュニティ・スクール担当者や学校運営協議会のメンバーの方、県教育庁の方などが、研修の一環として参観に来られました。学校運営協議会終了後、参観者の方から質問や意見をいただく時間がありましたが、ほとんどの感想、ご意見が、南有馬地区の取組を素晴らしい取組だと認めてくださいました。中でも「子どもたちの提案に対する地域の方々の温かいアドバイスに、この地域のぬくもりを感じました。」といった感想をいただいたときには、心からうれしくなりました。

これにおごることなく、満足することなく、南有馬地区の学校運営協議会は「子ども真ん中」をモットーに、地域、家庭、学校がスクラムを組んで取組を充実してまいります。今後とも、学校運営協議会及び地域学校協働活動にご理解とご協力をお願いいたします。

ある日の出来事

２１日（水）は、掃除の時間に全校遊びをする日でした。６年生が、全校のみんなで楽しく遊ぼうと企画し、運営する一大イベントです。遊びは「ふえおに」。６年生は相当気合が入っていました。他の学年の子どもたちもとっても楽しみにしていました。

ところが、昼休みの途中から天気は雨。外で遊んでいた子どもたちも校舎の中へ。私は、校長室の窓から、雨が落ちてくる空を恨めしく見つめていました。するとどこかから「てるてる坊主、てる坊主…」とかわいい歌声が聞こえてきました。子どもたちの気持ちが伝わってきて、じんわりと温かくなりました。全校遊びは、１１月４日にリベンジです。次は、きっと晴れるよ。

11月 行事予定

２日（月）　代表委員会
４日（水）　全校遊び
６日（金）　２年生学習遠足（諏訪の池ビジターセンター）
８日（日）～１３日（金）
通学合宿（オアシスセンター）
９日（月）　委員会活動
１０日（火）　３年生学習遠足（パロス、消防署）
６年生学習遠足（イオンの里山）
１１日（水）　原城音頭練習
１３日（金）　１年生学習遠足（諏訪の池ビジターセンター）
５年生学習遠足（雲仙岳災害記念館、旧大野木場小等）
１３日（金）～１５日（日）
北村西望教育美術展・古野賞科学技術展（南有馬体育館）
１５日（日）　南有馬地区体育祭（南有馬中学校運動場）
１７日（火）　校内マラソン大会試走
２０日（金）　４年生学習遠足（西望記念館他）
２１日（土）　PTA 熱気球滞留体験（南有馬小学校運動場）
２６日（木）　校内マラソン大会
２７日（金）　全学年５校時授業
※職員研修のため全学年５校時授業とします。ご理解とご協力をお願いいたします。



11月も行事が目白押し。準備等お世話になりますが、よろしくお願いします。

ほっとタイム

どうでもいい、私の「西洋見聞録」第５弾。今回は、イタリアはヴェネツィア編です。

ヴェネツィア空港に到着したのは夕方でしたので、ホテルにチェックイン後、街中のイタリアンレストランに行きました。このレストラン、地元の人が仕事帰りなどに立ち寄る、日本でいえば大衆食堂みたいな感じのレストランでした。しかし…最高においしかったです。今振り返ってみると、今回のドイツ・イタリア旅行の中で一番のおいしさだったと思います。旅先でおいしいお店を探すときは、地元の人が集まる店がいいということを学びました。

ヴェネツィア２日目は、いよいよヴェネツィア島さるく！本土からヴェネツィア島まで電車が走っているので、その電車を利用することに。駅で電車に乗ろうとすると、見たことがあるロゴを付けた電車がホームに入ってくるではありませんか。なんと「HITACHI」のロゴが！日本人としてなんだかとてもうれしくなりました。その「HITACHI」の電車に乗って、ヴェネツィア島に到着。ヴェネツィア島は水の都と言われるだけあって、街と海や運河との距離がものすごく近いのです。したがって、ヴェネツィア島の主な交通手段は、車ではなく船です。その船の船外機には「YAMAHA」や「SUZUKI」のロゴがたくさん！さらに、さらに、ほとんどのプレジャーボートの屋根には「FURUNO」のロゴが記されたアンテナが！決して誇張ではなく、「FURUNO」がいっぱいなのです。まさに世界の「FURUNO」ここにあり！うれしくて、うれしくて、うれし涙が出てきました。

そういえば、ドイツの街中では「SUZUKI」「MAZDA」「TOYOTA」といった車がたくさん走っていました。外国に行ってみてつくづく思いました。やっぱり、日本はすごい！